

2019年12月25日
大栄環境株式会社

三重中央開発(株)が管理型最終処分場の設置許可を取得しました。

2019年12月24日付で、三重中央開発株式会社において、新たに約665万 m^3 の管理型最終処分場の設置許可を取得しました。この度の設置許可取得により、三重中央開発株式会社の最終処分場総設置許可容量は、12,813,401 m^3 となりました。

リサイクル率を可能な限り高める一方でどうしてもリサイクル出来ないもの、また、近年国内で多発している災害対応、アジア各国での廃棄物の輸入規制等の影響による廃棄物の長期的な受け皿として、最終処分場は必要不可欠な社会インフラとなっています。

このような社会情勢を受け、大栄環境グループは2023年度末までに残容量を2,550万 m^3 確保する計画を進め、皆さまの信頼にお応えできる基盤づくりを続けて参ります。

【新規施設の概要】

- ・ 設置場所：三重県伊賀市予野字鉢屋 4606 番他
- ・ 埋立容量：12,813,401 m^3
- ・ 埋立物の種類：一般廃棄物 し尿処理施設及び生活排水処理施設から発生する汚泥等、粗大ごみ、焼却灰
産業廃棄物 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、金属くず、ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を含む。）（上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む。）汚泥（水銀含有ばいじん等を含む。）、燃え殻（水銀含有ばいじん等を含む。）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、鉱さい（水銀含有ばいじん等を含む。）、ばいじん（水銀含有ばいじん等を含む。）、処分するために処理したもの、ゴムくず、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、特定有害廃石綿等
- ・ 建設開始時期（予定）：2020年3月
- ・ 操業開始時期（予定）：2022年4月

■この件に関するお問い合わせ先

大栄環境株式会社 経営管理本部広報室 TEL 078-857-5276 <https://dinsgr.co.jp/>